

## 西海小児童がオペラ出演 「忘れられた少年」公演

天正遣欧少年使節を題材にしたオペラ「忘れられた少年」の公演が2日、西海市大島文化ホールであり、西海市立西海小の児童らが入り特別出演した。

西海町中浦地区は使節団の一人、中浦シユリアへの出身地といわれる。同オペラの映画化に取り組んでいるNPO法人東京オペラ協会(石多エドワード代表)から、公演を打診されたボランティア団体「さいかいガイドの会」が実行委を発足。かつてキリスト教布教の拠点として栄えた同町横瀬浦の開港400周年記念事業の一環で開いた。

公演にあたり、同協会が



オペラ歌手らと共演する児童たち

―西海市大島文化ホール

出演を同校に呼びかけ、石多代表らが週一回ほど出向いて指導した。本番では、衣装を身にまとった児童たちが三つのシーンで登場。生演奏に合わせてオペラ歌手らと「夕焼小焼」などの曲を披露した。会場には多くの市民が詰めかけ、4少年の数奇な運命を描いた舞台を堪能した。

5年の松屋真希さん(11)は、母親の恵美子さん(43)から「思い出づくりや経験になる」と勧められ、妹や弟と一緒に出演。「このような歴史を初めて知った。緊張したが、練習の成果を十分発揮できた」と笑顔で話した。

(織田賢)